

有明山将軍塚古墳、森将軍塚古墳、科野の村の取材 HSC

小山



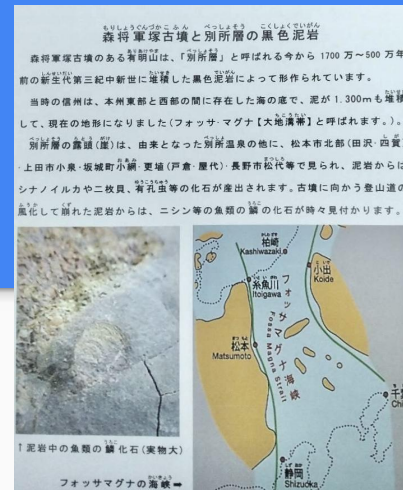
有明山将軍塚古墳に行くまでの発見



← 黒色泥岩
を発見



← 霜柱を発見



有明山将軍塚古墳 について



←有明山将軍塚
古墳



←有明山将軍塚
古墳から見えた景
色

有明山将軍塚古墳 は墳長37mの前方後円墳で、後円部には竖穴式石室が設けられていました。

盗掘は受けていたが、小型青銅鏡・鉄鏃・各種小玉類が出土していました。



森將軍塚古墳 について

森將軍塚古墳は、善光寺平南域を流れる千曲川の右岸にある、標高490mの山頂に所在する古墳時代前期の前方後円墳です。昭和41年から東京教育大学が発掘調査を行い、盗掘を受けた竪穴式石室及び多量の埴輪を検出した。

この調査を受け、昭和46年、東日本における古墳時代前期の前方後円墳の様相を知る上で重要であることから史跡に指定された。



森將軍塚古墳の近くにはこれだけのたくさんの古墳があります。



科野の村



科野の村には実際に建物に入れるし、池もあるのでみんなも来てみてください。



科野の村について

科野の里歴史公園内の復元された古墳時代の村。

- 茅葺きの家、物置小屋、倉庫、高床倉庫などが復元されています
- 田んぼや畑も作られており、毎年6月の第2日曜日に田植えが行われます。
- 近くには国の史跡である森將軍塚古墳や千曲市森將軍塚古墳館などがあります

有明山



森



科



今回の有明山将軍塚古墳、森将軍塚古墳、科野の村を改めて行って見ると新しい発見がありまた行ってみたいと思いました。





終わり

